

1 1. 休憩施設における防災救急機能の発揮（ヘリポートの活用）

- ・ 新東名の休憩施設には、防災救急機能の一つとしてヘリポートを設置
- ・ 遠州森町PAで発生した急病人に対して、ドクターヘリが出動し、医師による迅速な医療処置を実施

■ ドクターヘリの離着陸（事例）

休日午後、遠州森町PA内で急病人が発生。浜松消防がドクターヘリの出動を要請、PA内ヘリポートに着陸。急病人は、迅速かつ適切な医療処置を受けることができました。

- 迅速な処置**
- 1 午後 遠州森町PAで急病人発生
携帯電話で119番
 - 2 1分後 消防指令センターからの要請で浜松市消防局赤佐出張所から消防隊が出発
現地状況連絡からドクターヘリを要請（4分後）
 - 3 8分後 聖隷三方原病院のドクターヘリ出動
（医師・ナースが搭乗）
 - 4 10分後 ドクターヘリ遠州森町PA上空到着
浜松市消防局と調整しヘリポートに着陸、急病人のもとへ
 - 5 19分後 ドクターヘリが消防隊と合流
処置開始
 - 6 28分後 医療処置終了
その後、ドクターヘリで聖隷三方原病院へ搬送



当日状況写真：聖隷三方原病院提供



写真：浜松市消防局提供

- ・ 医療上、より早い医師による処置（ファーストタッチ）が重要であり、実現しやすい環境となった。
- ・ 新東名は山間部を通過し、近隣に医療施設がないため、ヘリでの搬送は有効である。
（聖隷三方原病院（医局））



- ・ これまでも、本線上などへの着陸はあったが、手続きなどに時間がかかった。しかし休憩施設にヘリポートがあることで、迅速に着陸できた。
（聖隷三方原病院（ヘリ担当））



出典：国土交通省ヒアリング